

6年	3	分数×分数	組番 名前 ()
----	---	-------	--------------

チェック ✓

次の問題に答えましょう。

① 次の計算をしましょう。

ア $\frac{4}{9} \times \frac{3}{5}$

答え ($\frac{1}{3}$)

①

$1\frac{3}{4} \times \frac{8}{3} \times 2\frac{1}{2}$

答え (2)

② 次の数の逆数を答えましょう。

ア $\frac{4}{5}$ ($\frac{5}{4}$)

イ 3 ($\frac{1}{3}$)

ウ $\frac{1}{2}$ (2)

問題

ひかりさんは、日本は「食品ロス（食べ残しやまだ食べられるのに、捨てられる食品）」が多いと知りました。そこで、日本がどのくらいの食品ロスをしているか、資料を集めました。

世界の食品ロスは、年間約13億トンで、そのうち日本での食品ロスは、年間約620万トンです。

日本での食品ロスを、さらに、家庭系（使い切れずに捨てた食品など）と事業系（売れ残り、規格外で捨てられる食品など）で分けると、家庭系がおよそ $\frac{8}{17}$ 、事業系がおよそ $\frac{9}{17}$ と分かりました。

事業系の食品ロスには、製造の過程で捨てられてしまう部分があり、スーパーなどで売るときに形が悪いなどの理由で選別される食品がたりするものがあります。また、レストランやなどの



「外食産業」で食べ残しなどにより捨てられる食品が、事業系の食品ロスのうちの $\frac{7}{20}$ にあたります。



日本の家庭系の食品ロスが何万トンになるか、計算します。くらべる量は、もとにする量×割合で求めることができるので、式は、()です。

(1) () にあてはまる式を、次のア～オから1つ選び、記号に○をつけましょう。

ア $620 \div \frac{8}{17}$ **イ** $620 \times \frac{8}{17}$ ウ $13 \times \frac{1}{3}$ エ $13 \times \frac{8}{17}$ オ $3 \div \frac{9}{17}$



事業系のうち、外食産業で捨てられた食品は $\frac{7}{20}$ だとかかかっているけれど、外食産業で捨てられている食品は、約何万トンあるのかな？

(2) 外食産業で捨てられている食品は、約何万トンですか。求める方法、式や計算、答えをかきましょう。答えは、四捨五入して整数で答えましょう。

(例) 外食産業の食品ロスは、(日本の食品ロス) × (事業系の割合) × (外食産業の割合) で求めます。

式は、 $620 \times \frac{9}{17} \times \frac{7}{20}$ だから、

計算すると、 $620 \times \frac{9}{17} \times \frac{7}{20} = \frac{1953}{17}$

$1953 \div 17 = 114.88\dots$ だから、小数第1位を四捨五入して115万トンといえます。

答え 約 115 万トン